

第4次国有林野施業実施計画書

(埼玉森林計画区)

計画期間
自 平成 25 年 4 月 1 日
至 平成 30 年 3 月 31 日

関東森林管理局

目 次

1	国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域	1
2	施業群の名称及び区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの 伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量	1
(1)	伐採造林計画簿	1
(2)	水源涵養 ^{かん} タイプにおける施業群別面積等	1
(3)	水源涵養タイプの施業群別の上限伐採面積	2
(4)	伐採総量	3
(5)	更新総量	4
(6)	保育総量	4
3	林道の整備に関する事項	5
4	治山に関する事項	5
5	保護林及び緑の回廊の名称及び区域	6
(1)	保護林の名称及び区域	6
(2)	緑の回廊の名称及び区域	6
6	レクリエーションの森の名称及び区域	7
7	公益的機能維持増進協定の名称及び区域	7
8	その他必要な事項	7
(1)	施業指標林、試験地等	7
(2)	フィールドの提供	7
(3)	森林共同施業団地	8
(4)	その他	8

1 国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域

国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域については、別添国有林野施業実施計画図による。

2 施業群の名称及び区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量

(1) 伐採造林計画簿

伐採・更新箇所ごとの伐採・更新面積及び方法等については、別添伐採造林計画簿に示すとおりである。

(2) 水源涵養^{かん}タイプにおける施業群別面積等

(単位：面積ha、伐期齢 年)

施 業 群	面 積	取扱いの内容	伐期齢又は回帰年
ス ギ 長 伐 期	59.34	伐 採 面 積 の 縮 小、モザイク的配置	90
ス ギ 分 散 伐 区	40.66	〃	50
ヒ ノ キ 長 伐 期	661.40	〃	100
ヒ ノ キ 分 散 伐 区	48.39	〃	55
ス ギ 複 層 林	27.86	水 源 涵 養 機 能 に 配 慮 し た 非 皆 伐	50～100
ヒ ノ キ 複 層 林	95.92	〃	55～110
択 伐	2,589.30	(注) 1による	回帰年は定めない
そ の 他	43.97	(注) 2による	定めない
合 計	3,566.84		

(注) 1 択伐施業群の伐採は森林の管理経営の指針で定める伐期齢以上とし、水源涵養機能の発揮に配慮しつつ隣接林分の主伐、間伐時に併せるなど適時に行うものとする。

2 保護樹帯の伐採は、保護樹帯設定基準によるものとする。

3 面積は林地面積を計上している。

(3) 水源涵養タイプの施業群別の上限伐採面積

(単位：ha)

施 業 群	上限伐採面積	摘 要
ス ギ 長 伐 期	3	
ス ギ 分 散 伐 区	4	
ヒ ノ キ 長 伐 期	3 3	
ヒ ノ キ 分 散 伐 区	4	
ス ギ 複 層 林	3	
ヒ ノ キ 複 層 林	9	
択 伐	2 5 9	
そ の 他	4	
合 計	3 1 9	

(注) 契約に基づいて主伐を実施する分収林については、水源涵養機能の発揮に支障がない限り、上限伐採面積に含めないことができるものとする。

(4) 伐採総量

(単位：材積 m^3)

区 分		林			地		林地 以外	合 計
		主 伐	間 伐	小 計	臨時伐採量	計		
山地災害防止タイプ		—	— (—)	—				
自然維持タイプ		—	— (—)	—				
快適環境形成タイプ		305	230 (3.32)	535				
水源 涵養 タイプ	スギ長伐期	—	2,730	2,730				
	スギ分散伐区	1,358	528	1,886				
	ヒノキ長伐期	—	15,270	15,270				
	ヒノキ分散伐区	5,982	484	6,466				
	スギ複層林	—	22	22				
	ヒノキ複層林	—	1,049	1,049				
	択 伐	4	18,542	18,546				
	そ の 他	—	—	—				
計		7,344	38,625 (626.22)	45,969				
合 計		7,649	38,855 (629.54)	46,504	2,500	49,004	—	49,004
年 平 均		1,530	7,771 (125.91)	9,301	500	9,801	—	9,801

(注) () は、間伐面積(ha)である。

(再掲) 市町村別内訳

(単位：材積 m^3)

市 町 村 名	林			地		林地 以外	合 計
	主 伐	間 伐	小 計	臨時伐採量	計		
秩 父 市	4,102	38,010	42,112				
毛 呂 山 町	3,242	—	3,242				
と き が わ 町	305	845	1,150				
合 計	7,649	38,855	46,504				

(注) 市町村別内訳には、臨時伐採量及び林地以外の土地に係る伐採量は含まない。

(5) 更新総量

(単位：ha)

区 分		山 地 災 害 防 止 タ イ プ	自 然 維 持 タ イ プ	快 適 環 境 形 成 タ イ プ	水 源 涵 養 タ イ プ	合 計
人 工 造 林	単 層 林 造 成	—	—	—	21.40	21.40
	複 層 林 造 成	—	—	2.33	—	2.33
	計	—	—	2.33	21.40	23.73
天 然 更 新	天然下種第1類	—	—	—	—	—
	天然下種第2類	—	—	—	0.03	0.03
	ぼ う 芽	—	—	—	—	—
	計	—	—	—	0.03	0.03
合 計		—	—	2.33	21.43	23.76

(6) 保育総量

(単位：ha)

区 分		山 地 災 害 防 止 タ イ プ	自 然 維 持 タ イ プ	快 適 環 境 形 成 タ イ プ	水 源 涵 養 タ イ プ	合 計
保 育	下 刈	—	—	3.79	120.56	124.35
	つ る 切	—	—	—	9.62	9.62
	除 伐	—	—	—	11.52	11.52
	枝 打	—	—	—	—	—

3 林道の整備に関する事項

基 幹 ・ その他別	開 設 ・ 改 良	路 線 名	箇 所 (林班)	延 長 (m)	備 考
基 幹	改 良	天 目 山	15、20、23、24	200	路肩用壁工外
		秩 (併 用 部 含 む)	3、8、民有地	630	路肩用壁工外 法 面 工 アスファルト舗装
		奥 秩 父	65～68	300	路肩用壁工外
	計	3 路 線		1,130	
その他	開 設	中 川	3～5	4,200	
		仙 元	28	400	
	計	2 路 線		4,600	
	改 良	細 久 保	26	20	路肩用壁工外
		仙 元	28	30	法 面 工
	計	2 路 線		50	
合 計	開 設	2 路 線		4,600	
	改 良	5 路 線		1,180	

(注) 災害復旧等緊急を要する工事については、指定箇所以外においても実行できるものとする。

4 治山に関する事項

位 置 (林 班)	区 分	工 種	計 画 量
2、63、64、66、67、68、69、70	保安林の整備	本数調整伐	279ha
9	保安施設	溪間工	4箇所
8、9、23、24、28、68、72		山腹工	8箇所
合 計	保安林の整備		279ha
	保安施設		12箇所

(注) 災害復旧等緊急を要する工事については、指定箇所以外においても実行できるものとする。

5 保護林及び緑の回廊の名称及び区域

(1) 保護林の名称及び区域

当計画区には、森林生態系の遺伝資源の保存、植物群落の保護を図ることを目的として、下記のとおり保護林を設定しており、貴重な天然林等の自然環境維持に配慮しながら適切に保存、保護を図っていくこととする。

種 類	名 称	既設 ・ 新設	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	特 徴 等
森 林 生 物 遺 伝 資 源 保 存 林	秩 父 山 地	既設	2,122.86	55 全 56 全 57 全 58 全 59 全 60 全 61 全	多様な森林植生を有し、ニホンカモシカ、ニホンツキノワグマなど多くの哺乳類のほか、猛禽類やアカショウビンなど注目に値する鳥類の生息も多い。
森林生物遺伝資源 保存林 計			2,122.86		
植 物 群 落 保 護 林	十 文 字 峠	既設	22.60	67 ろ	コメツガ、シラビソ等の亜高山帯の針葉樹林である。
植物群落 保護林 計			22.60		
合 計			2,145.46		

(注) 面積欄は、設定区域の全体面積を計上しているが、実際の保護林の面積は、保護林から除外すべき区域（貸付地等）を除外した面積である。

(2) 緑の回廊の名称及び区域

緑の回廊は、より広範で効果的な森林生態系の保護・保全に努めるため、野生動植物の移動経路を確保し、生息・生育地の拡大と相互交流を促すことが適当と認められる国有林野を選定することとして、下記のとおり設定する。

名 称	既設 ・ 新設	延 長 (km)	面 積 (ha)	位 置 (林班)	特 徴 等
秩父山地	既 設	44	6,453.35	42～54 65～73 (67ろ を除く)	「秩父山地森林生物遺伝資源保存林」と「十文字植物群落保護林」を中心に2000m級の山々が連なる秩父山地に設定しており、多様な森林生態系が維持されている。
合 計			6,453.35		

(注) 1 面積欄は、設定区域の全体面積を計上しているが、実際の緑の回廊の面積は、緑の回廊から除外すべき区域（貸付地）を除外した面積である。

2 延長44kmは、保護林を含んでいる。

6 レクリエーションの森の名称及び区域

該当なし。

7 公益的機能維持増進協定の名称及び区域

該当なし。

8 その他必要な事項

(1) 施業指標林、試験地等

種 類	名 称	設定年	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	備 考
施 業 指 標 林	複 層 林 施 業	H 2	0.26	28 よ	
施 業 指 標 林 計			0.26		
試 験 地	細久保ヒノキ 収 穫 試 験 地	S 40	1.41	21 ろ	
	中津川カラマツ 収 穫 試 験 地	S 41	1.83	68 む内	遺伝子保存林と併設
試 験 地 計			3.24		
遺伝子保存林	遺 伝 子 保 存 林	S 41	1.56	69 よ	アカマツ
		S 47	1.93	12 い ₅	〃
		S 41	2.92	66 そ	カラマツ
		S 41	2.01	68 む	〃
		S 42	2.00	68 う	〃
		S 46	1.02	67 か	ヤツガタケトウヒ
遺 伝 子 保 存 林 計			11.44		
モ デ ル 林	水土保全モデル林	H 13	5.18	66 け	
モ デ ル 林 計			5.18		
合 計			20.12		

(2) フィールドの提供

対象地（林小班）	設定の目的	備 考
8 は ₁	多様な活動の森 (中川の森)	設 定：平成22年4月 実施主体：NP0法人 秩父の環境を考える会 面 積：1.00ha
14へ ₂	多様な活動の森 (ツキノワの森)	設 定：平成22年4月 実施主体：ツキノワの会 面 積：3.80ha
35は ₃	多様な活動の森 (三境の森)	設 定：平成22年4月 実施主体：森と人の会 面 積：1.71ha

(3) 森林共同施業団地

該当なし。

(4) その他

該当なし。